

西部日本海ブロック増養殖担当者会議で アカモク研究成果を報告

12月12日に福井県敦賀市において、平成29年度西部日本海ブロック増養殖担当者会議が開催されました。本会議は、福井県から山口県までの府県や国の水産増養殖研究者等が集まり、海藻や貝類増養殖等に関する最新研究情報の収集・交換を行うことを目的としております。

当センターからは、近年、スーパーフード*として注目されている海藻アカモクの養殖技術の安定化に向けた研究成果を報告しました。アカモク養殖は参加者の関心も高く、「試験内容はどのように設定したか」、「養殖の具体的な方法を教えてほしい」など多くの意見や指摘をいただきました。

今後は、本会議で得られた情報や意見等をアカモク養殖技術開発に役立てていきます。

※スーパーフード：(一社)日本スーパーフード協会が推奨する、栄養バランスに優れ一般的な食品より栄養価が高い、或いは一部の栄養・健康成分が突出して多く含まれる食品。アカモクは抗メタボ効果のあるフコキサンチンを多く含む伝統自然食品「ジャパニーズスーパーフード」として同協会が認証・推奨している。



研究発表のスライド

海洋センター